

東京湾海況情報 26-4

東京湾水質調査結果（平成26年7月）

（平成26年7月30日発行）

千葉県水産総合研究センター
東京湾漁業研究所
〒293-0042 富津市小久保3091
TEL 0439-65-3071
E-mail futtsu-sokuho@pref.chiba.lg.jp
千葉県農林水産技術会議

資料 水質調査 7/8：内湾（ふさなみ）、7/15：内房海域（ふさみ丸）
関東・東海海況速報（7/15）、東京湾口海況図（7/15）
モニタリングポスト（7/8：国土交通省関東地方整備局、海上保安庁）
東京都環境局（7/8）

【 水温・塩分の状況 】

湾内の表層水温（図1）は21～25℃台で、ほぼ全域で平年より約1～2℃高くなっています。塩分は20～33PSU台前半で、内湾中央～北部海域では6月下旬～七月初旬の降雨によって低くなっています。

縦断面の水温・塩分の鉛直分布（図3）では、内湾中央部（st.6～J5）の水深10m付近でやや弱い成層状態がみられています。

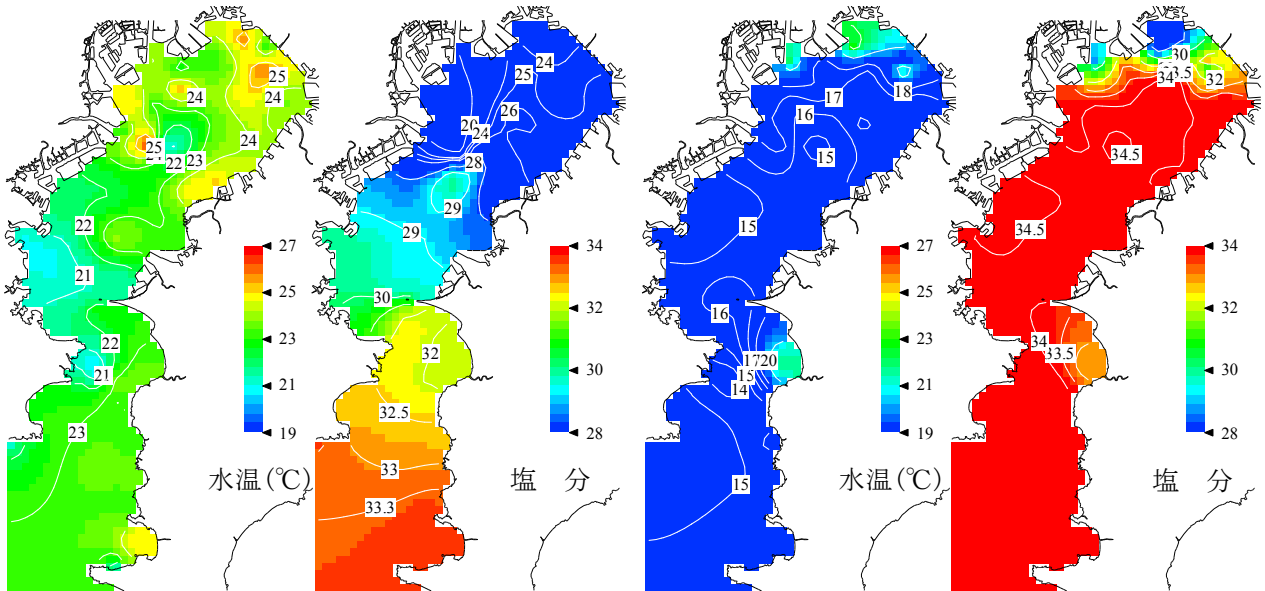


図1 水温・塩分分布（表層）

図2 水温・塩分分布（底層）

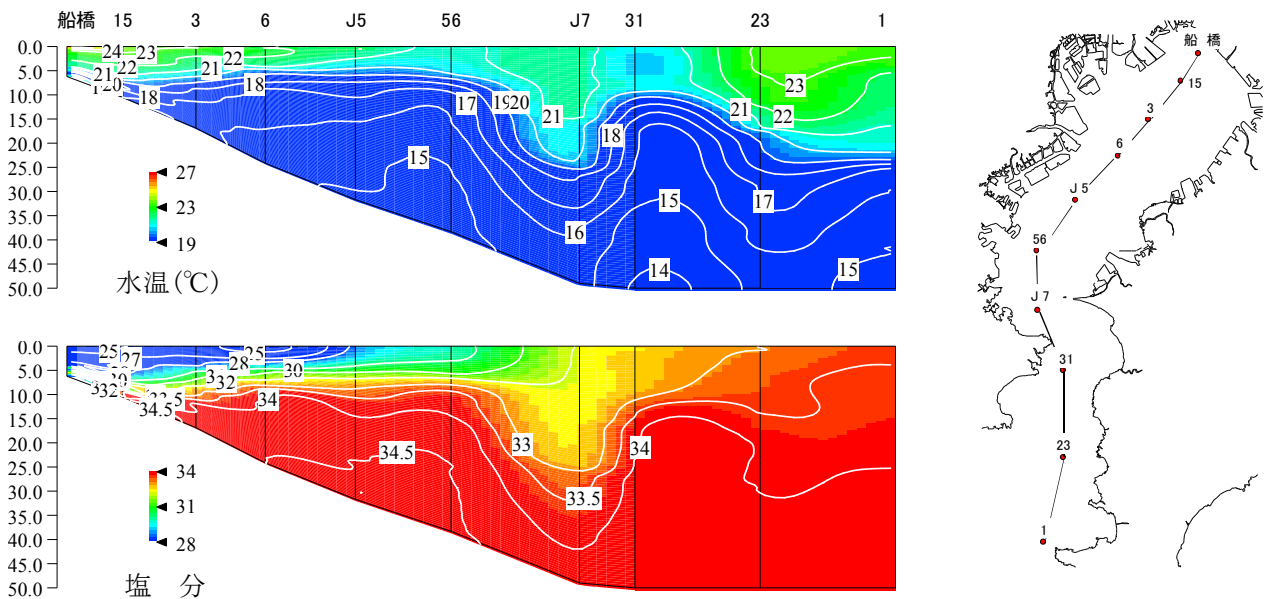


図3 縦断面の水温・塩分の鉛直分布（右：調査ライン（上：内湾、下：内房海域））

【 赤潮の状況 】

赤潮は多摩川沖から浦安・船橋及び千葉にかけての海域で発生し、pHは8.6~8.9、透明度1m台(図4)で、水色も褐~茶褐色を呈する程の状態でした。

優占種は渦鞭毛藻のギムノディニウム(*Gymnodinium* sp.)で、内湾北部海域では、さらにノクチルカ(*Noctiluca scintillans*)があらこちらでみられました。また、魚介類に被害を及ぼすラフィド藻のヘテロシグマアカシオ(*Heterosigma akashiwo*)が湾奥及び内房海域で若干みられました。

※ 千葉県の赤潮の目安は次のとおりです。

色	: オリーブ~褐色
酸素飽和度	: 150%以上
透明度	: 1.5m以下
pH	: 8.5以上
クロロフィルa	: 50 μ g/L以上

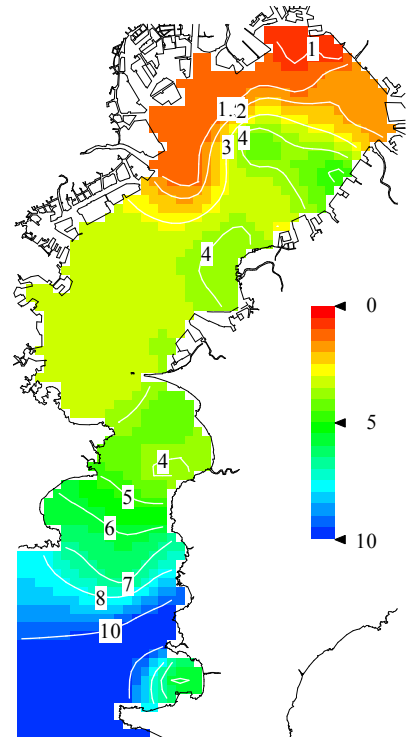


図4 透明度の分布(m)

【 貧酸素水塊の状況 】

内湾底層部の溶存酸素量(図5, 6)は内湾中央から北部海域で低下し、0.25ml/L以下のほぼ無貧酸素水塊が広く分布しています。

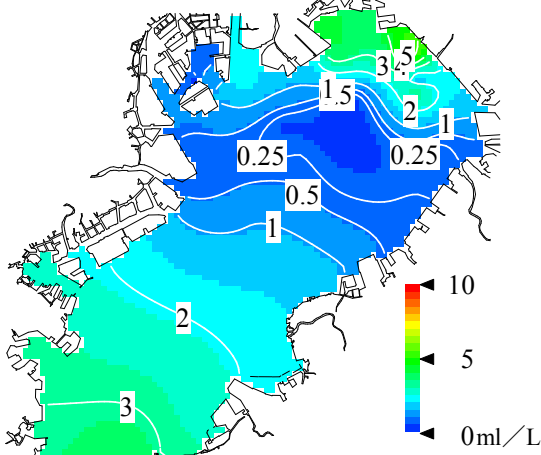


図5 底層部の溶存酸素量の分布(内湾)

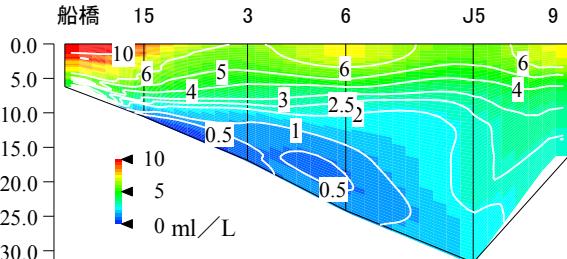


図6 縦断面の溶存酸素量の分布(内湾)

※ 千葉県水産総合センターでは、溶存酸素量2.5ml/L(酸素飽和度50%)以下を貧酸素水塊としています。

【 栄養塩の状況 】

湾内の表層栄養塩(図7)は溶存無機態窒素(DIN)、リン酸態リン(PO₄-P)とも内湾で平年並みからやや多く、内房海域では平年並みからやや少なくなっています。

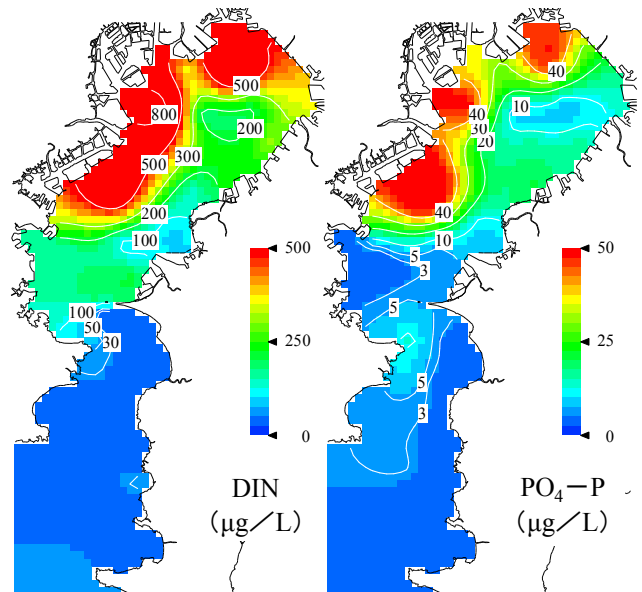


図7 栄養塩濃度の分布(表層)

【黒潮の状況】

黒潮はN型基調で推移し、その流軸は15日現在八丈島と御蔵島の間を通過した後、房総半島南東岸を北東方向に流れています(図8)。

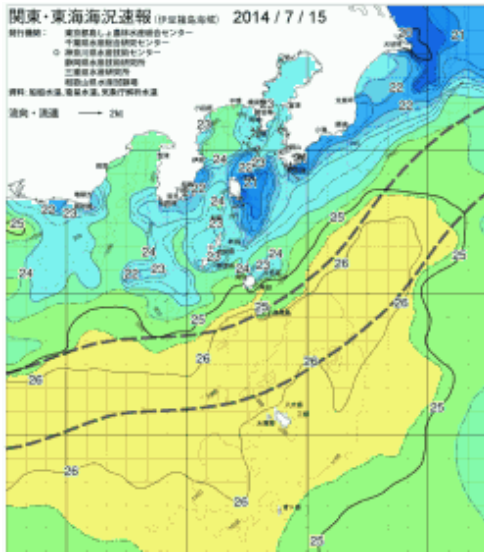


図8 黒潮の動き (平成26年 7月15日)

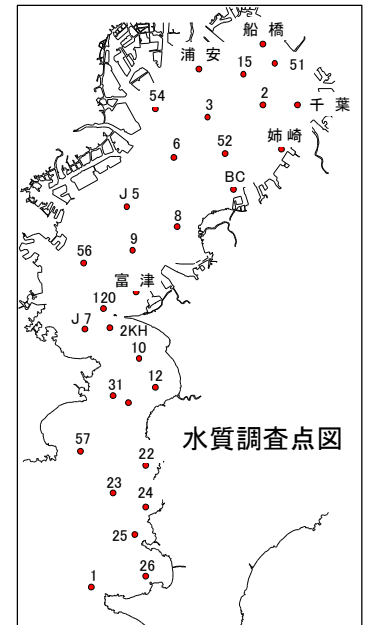


表1 主な調査点の水質調査結果 (表層, 溶存酸素量のみ底層)
(): 最近10年間の平均値 (2004~2013年)

調査点	水温 (°C)	塩分	透明度 (m)	pH	溶存酸素量 (ml/L)	アンモニア態窒素 (µg/L)	溶存無機態窒素 (µg/L)	リン酸態リン (µg/L)	クロロフィルa (µg/L)
内湾	船橋	25.4 (24.1)	21.24 (26.78)	1.0 (1.4)	8.9 (8.6)	3.5 (2.7)	49 (74)	560 (169)	44 (21)
	st.15	23.5 (23.3)	24.90 (26.81)	1.2 (1.5)	8.7 (8.7)	0.4 (1.4)	333 (46)	784 (155)	44 (14)
	st.3	23.0 (23.6)	25.70 (27.44)	4.5 (1.7)	8.4 (8.6)	0.2 (0.5)	90 (34)	202 (263)	8 (18)
	st.6	22.0 (23.6)	23.44 (26.86)	2.1 (1.8)	8.5 (8.6)	0.9 (1.1)	83 (77)	498 (325)	21 (21)
	st.9	23.7 (23.1)	29.00 (30.08)	3.2 (2.4)	8.5 (8.5)	2.3 (2.6)	81 (22)	98 (46)	8 (5)
	st.BC (盤洲Cブイ)	24.9 (24.0)	26.04 (29.53)	3.0 (1.9)	8.5 (8.5)	1.0 (2.8)	136 (31)	216 (48)	19 (8)
	st.8 (盤洲A南)	22.9 (23.2)	28.25 (30.53)	4.1 (2.3)	8.5 (8.5)	1.7 (2.2)	66 (22)	99 (48)	10 (7)
	富津	21.4 (22.1)	29.12 (30.64)	3.8 (2.5)	8.4 (8.4)	2.5 (3.3)	129 (29)	188 (55)	5 (8)
内房海域	st.2KH (第2海ほ下)	22.4 (22.7)	31.67 (31.07)	3.5 (3.6)	8.4 (8.3)	9 (20)	15 (53)	6 (5)	
	st.31	20.4 (22.4)	32.30 (31.63)	4.5 (4.2)	8.3 (8.4)	9 (16)	27 (39)	7 (4)	
	st.23	23.4 (22.3)	32.97 (33.16)	7.0 (9.4)	8.3 (8.2)	19 (12)	23 (25)	3 (2)	
	st.1	23.2 (22.3)	33.41 (33.59)	11.0 (13.7)	8.2 (8.2)	22 (15)	25 (21)	1 (3)	
	st.10 (下洲沖)	22.7 (21.0)	32.01 (31.38)	4.5 (3.5)	8.3 (8.3)	2 (19)	3 (52)	2 (4)	
	st.12 (湊沖)	23.2 (22.7)	31.91 (31.39)	4.0 (3.4)	8.3 (8.4)	4 (17)	5 (40)	1 (4)	
	st.22 (保田沖)	23.1 (22.6)	32.72 (33.18)	7.5 (6.9)	8.3 (8.2)	8 (13)	9 (21)	ND (1)	
	st.24 (富山沖)	23.3 (22.6)	33.26 (33.64)	10.0 (10.1)	8.2 (8.2)	27 (11)	33 (16)	ND (1)	
st.26 (館山湾内)	24.7 (22.5)	33.37 (33.69)	6.0 (11.0)	8.3 (8.2)	9 (12)	11 (17)	1 (1)		

注) 透明度、pH、クロロフィルaの欄の橙色は赤潮の基準に、溶存酸素量の欄の青色は貧酸素水の基準に達していることを示しています。